No.16　2007年3月1日発行

緑ネット通信 No.16

緑のネットワーク・まつど
代　表：鈴木　護
連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977
年会費：1000円

1月14日観察学習会⑯「"みんなで育む森"めぐり」

山室 功

平成19年1月14日、今年初の定例観察会が行われた。総勢30人ほどが常盤平駅に集合。本日の観察会は盛りだくさんで主に三カ所を回る。コースは八ヶ崎の森→囲いやまの森→金ヶ作の森・三吉の森。

八ヶ崎の森は里山応援団一期の方々が、囲いやまの森は里山応援団二期の方々が、そして金ヶ作の森・三吉の森は金ヶ作の森を育む会及び里山応援団三期の方々が森の維持の手入れに精を出していらっしゃる場所。これらの森がどんな森なのか？どんな風に手入れを行っているのか？現状どのような状態なのかを観察して回る催し。

暖冬と言われるものの、吹き抜ける寒冷な北風に手も悴（かじか）む。観察会がスタートし、八ヶ崎の森に向かう途中、高木小学校に立ち寄った。
高木小学校には市も指定するクスノキの巨木がある。幹周りを数人で手を繋ぎ計測する。ほぼ4人分だった。

八ヶ崎の森に到着すると里山応援団（一期）の方々が迎えてくれた。0.9ha のこの森にはスギ、ヒノキ、サワラ等の針葉樹が多い。林床にアズマネザサの繁茂する獣道を進むと、ギャップと呼ばれる柔らかい光の射し込む広めの場所に出た。

このギャップではどんな植物が育つか観察する場所。朽ちたスギの丸太等、子供たちの観察のために色々な創意工夫をしているようだ。

囲いやまの森では里山応援団（二期）の方々が説明をされた。外来種のハリエンジュが目立つがどちらかといえば、コナラ、イヌシデ等の落葉樹中心の明るい森だった。

ここで昼食を採っている間、シジュウカラを初めとした様々な野鳥が観察された。トイレをお借りした熊野神社の付近にウソが10羽程群れをなしていたらしい。暖冬の為なのか、メジロは松戸市中でも異常なくらい多く観察され、最近東葛地域では珍しい筈のウソの存在を良く耳にするが、大変興味深い現象だと思う。

最終目的地の金ヶ作の森・三吉の森に到着する。竹林が非常に印象的であり、孟宗竹が多いようだ。説明によれば、明治時代の地図に竹林の記述がすでに有ったらしい。ただ、当時からすればその竹林の範囲が相当広がってしまい隣の雑木林にまで進出してしまったとの事。これをなるべく元の竹林の範囲に戻し、密集しすぎていた状態を'番傘を差したまま通れる'程に伐採し、整備を継続、生きた森として復活させているとのこと。

森の中を歩くと実に明るく、踏みしめる土の軟らかさも大変良い状態で管理されている。林床には何故か茶の木が多く、ハナワラビなども観察出来た。

観察終了後、同場所で新年会に移行、ボランティアの方々が用意して下さった焼きネギやハタハタに舌鼓をうち無事終了した。

観察学習会・残したい松戸の樹林⑮

「みんなで育む森めぐり　八ヶ崎～金ケ作の森の中へ」に参加して

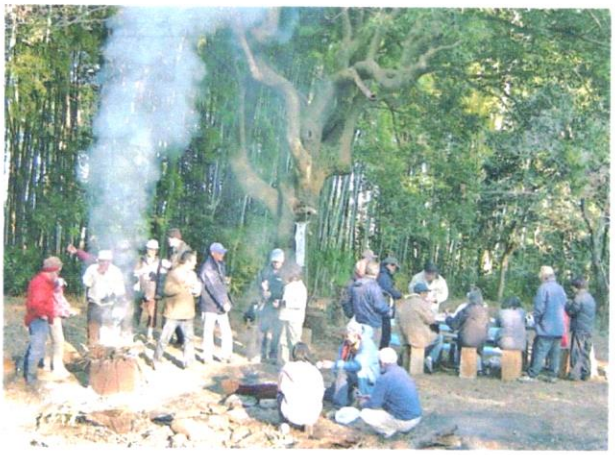
松戸市みどりと花の課　島村宏之

松戸の森林ボランティアは以前、関さんの森と金ケ作の森の２つしかなかったのが平成１５年度から市民とのパートナーシップで実施してきた「里やまボランティア入門講座」とともに毎年増え、根木内歴史公園や溜ノ上の森と合わせて今では全部で７団体になりました。

この観察会に参加した目的はこうしたボランティア活動が行われている森での活動成果を見させてもらうことと小中学校の総合学習の場として活用してもらうために担当の先生に森を知っていただくことです。

晴天に恵まれた青空の下で、六中の宇佐見教頭とともに森を歩きました。先生は松戸市内でボランティアが入って整備している森がこれだけあることに正直驚いていました。熱心に見ている様子から拝見していると、先生の頭の中で森という自然空間を使って総合学習を展開するイメージがもう膨らみ始めているように思えました。囲いやま森の会の野口さんや里やま応援団の深野さんとの交流をきっかけに、理科同好会の先生方との出会いの機会が生まれることを楽しみにしています。

今回、私がびっくりしたことは、八ヶ崎・囲いやま・金ケ作のそれぞれの森で下刈り、枯れ枝・不要木の撤去が随分進んでいて観察園路が整ってきたことです。これなら、近隣住民や小学生に森を見てもらいたくなる気がします。行政としても森を広く知ってもらういい機会なので、仲介役として今後もサポートしていきたいと思います。



「（仮称）「関さんの森　エコ・ミュージアム」に参加を！

武笠紀子

今「関さんの森」に面した関さんの屋敷林、梅林、広場を分断する道路が計画されています。森と屋敷林他を合わせると約２ha の緑地があります。道路にしてしまうのはもったいないので、今のままの姿で将来に伝えていきたいと関さんは考えています。道路問題で関さんの森を訪れた『もったいない運動本部長』の川井市長さんは、「こんないい場所はない。」との感想を述べられたそうです。近年、展示のための建物を造らず、自然や文化財をそのままの状態で見せる博物館（エコミュージアム）が創られています。そこで、「（仮称）関さんの森エコ・ミュージアム」を創ろうと準備会を立ち上げました。森が好きな人、蔵や門に興味のある人、エコ・ミュージアムにかかわりたい人、道路問題に関心のある人、等等いろんな方の参加をお待ちしています。会費は年 500 円、定例会は毎月第３日曜日、午後１時３０分から「関さんの森」です。

問合せ 090－9365－9608 武笠まで

Email：mks69@ka3.koalanet.ne.jp

緑のネットワーク情報

千駄堀を守る会

定例観察会は、毎月第四日曜日に開催。９時に「21 世紀の森と広場」公園中央口に集合して、お昼までおこなっています（雨天決行）。

４月は２２日（日）、５月は２７日（日）に開催。生き物たちの活動も活発な季節。野鳥・昆虫・植物・クモなど、いろんな生き物たちを観察します。

（山田）

小学校自然観察支援

貝の花小学校から千駄堀を守る会代表の山田さんが頼まれてずっと実施してきた授業での自然観察ですが、2006 年度は常盤平第３小学校の３、４年生からも頼まれ、21 世紀の森と広場で 100 名ほどの子ども達と 10 回自然観察しました。

緑のボランティア仲間が大勢参加し、子どもたちに自然の不思議さ素晴らしさを発見してもらおうと頑張りました。

子ども達に自然を案内するノウハウを持ち、経験を

積んだ人がいっぱい増えれば、今後各フィールドでも同様に実施することができるようになると思います。豊かな自然とはいえない松戸だけれど“心豊かな自然とのふれあい”を松戸のあちこちで提供できるようになるといいですね。

来年度もたぶん実施することになるでしょうがメンバーはまだまだ足りませんので興味のある方はお手伝いいただけると助かります。勉強がてらご参加ください。 peco@ka1.koalanet.ne.jp(渋谷)

関さんの森を育む会

住宅地に囲まれた森を守るのは大変。皆さんの力を貸してください。日曜日の定例作業は、さまざまな維持管理活動をおこなっています。平日定例は、ゴミ拾いを中心に、関さんの森や梅林をぐるっと一周しています。森の散策をかねて、ぜひ参加してください。

定例作業：毎月第３日曜日（10～１４時頃）

平日定例：毎月第２木曜日（10～12 時まで）

（山田）

江戸川の自然環境を考える会

＜印旛沼と佐倉城址公園の観察＞

07 年３月 25 日（日）

集合場所：JR 常磐線松戸駅　西口広場　8：50am

京成成田線　　臼井駅　　10：15am

（松戸駅より新京成線、京成津田沼乗り換え）

＜春の海老川源流をたどる＞

07 年４月 22 日（日）

集合場所：JR 常磐線松戸駅　西口広場　9：00am

東武野田線　塚田駅　　9：50am

５月は**＜新緑の増尾城趾公園と沼南・手賀沼＞**

（鈴木）

金が作の森を育む会

定例作業日は毎週第二土曜日 10:00-12:00 です。主な作業は竹の伐採と整理。心地よい汗を流した後は、焚き火をたきながらみんなで昼食を楽しみます。森には樹齢 200 年をこえるけやきの大木もあり、フクロウもいます。

また夏にはカラスウリの花を見ながら、夕涼み会をもったりして森を楽しんでいます。

047-367-2857（代表　高橋）

里やま応援団（１期）

八ヶ崎の森（松戸東警察署裏）をフィールドとし、毎月第２、第４の水曜日に活動をしています。活動を始めて３年近く。うっそうとしていた森の整備もかなり進み、きれいになりってきました。これからは子ども達の自然観察の場として使えるような視点でのソフト整備を急ぎたい。更に近隣の小中学生への誘致にも力を入れていく予定。

これからの方向として、八ヶ崎の森での活動は月に１日にして、もう１日をほかの支援に振り向けることも検討しようと言う声が上がっています。

フィールドとして定期的に(長期的に)整備に入るほどの森ではなく、もっとちいさな屋敷林などで手入れに困っているところなどへのお助け隊みたいに一時的に派遣してきれいにしていくような活動も取り組んでみようとしています。さらにはお年寄りで手入れの出来なくなって困っているお庭へもお助け隊としていくなんてことも考えてみたいという意見もあります。

里山応援団は松戸のみどりをさまざまな観点から守るための多面的な活動をしていきたいと考えております。

（副代表：高木喜久雄）

囲いやま森の会（２期）

活動をはじめて、１年９ヶ月。森の半分弱の区域を人のエリア、残りを先住動物のエリアとして、整備をすすめ、人のエリアは下刈りや通路・広場の整備が一段落しました。１１月と２月、ちばコープの「森の楽校」で、家族連れの森の体験イベントを行いました。

第一日曜日と第三火曜日が定例活動日です。どうぞご参加ください。それ以外の日でも、グループなどで森を活用する希望があれば、ご連絡ください。

野口功　(047-345-6086)

n-gera02@ktd.biglobe.ne.jp)

里やま応援団『三樹の会』（３期）

発足当時は、里やま応援団１、２期のフィールドや市内の里やまボランティアグループのお手伝いをしながら活動場所を模索していましたが、昨年６月から地主様のご厚意（や要望）で『金ヶ作の森を育む会』のフィールドの一部である樹林地（三吉の森）の手入れを行うことになりました。

当時、『三樹の会』は会員１１名で女性パワーを持ってあちこちで活躍、特に今でもエミちゃん、アキちゃんパワーで現在会員１６名の仲間をまとめ活動中です。最初は何も出来なかった仲間ですが森の手入れの合間に昨年は、竹細工を勉強しイベントにも参加しました。先月の竹炭講習会で３名が受講し、今年から竹炭創りに挑戦しながら楽しく活動する仲間です。

今月から『金ヶ作自然公園』の前にある細長い樹林地で、まずは清掃活動（なんか格好良いが単なるゴミ拾い）からスタートして樹林地の手入れを行います。

活動日は、第１土曜日、第３月曜日、第４月曜日の１０時から作業して楽しくお昼をいただき午後は時間があれば、竹細工やおしゃべりをしています。何方でも気軽に参加歓迎しますのでお出かけ下さい。

はじめての方は『三樹の会』ホームページ（http://www.geocities.jp/matudosatoyama/）「三吉の森」案内図を見て下さい。（山下）

里山ボランティア入門講座４期の会

里やまヴォランティア入門講座第四期の仲間が集まって今正に会を立ち上げつつある所です。講座後二度の会合を持ち会を作りましょうという所まで進みました。

会の名称は四季の会(四期の会）と言う案が出て３月24日の次回の会合で決める予定です。代表は押されて私中島、事務局は副代表の斉藤が勤めます。これから皆様のご指導を得ながら会を進めてまいります。宜しくお願い致します。（中島敏夫）

溜の上レディース＆ナイト

散策路ができて、樹木の名札もついて、森をお散歩する人の姿が増えたようです。昨年は近所の子どもが虫探しや栗拾いに来たとノートに書いてくれました。頼もしいナイトの出現で隣地に張り出した枝やヤブの整備が進み、業者による整備も予定されて、近隣の人との関係は今のところ穏やかです。

第２木曜日と第４金曜日の10時森集合です。時間のある人は森でお弁当を食べておしゃべりしたり、午後も気が向くと作業の続きを少ししたりしてます。どなたでも気楽においでください。

問い合わせ：047-348-7977（渋谷）

（仮称）大町教育の森

大町教育の森（市川市）は松戸市との市境。大町駅より徒歩10分。梨畑の奥に広がる、明るくて野草の楽しめる森です。先日は市川でも珍しいミツバウツギの木を発見しました。活動日は第三木曜日・10時～14時、次回は３月１５日

一度いらっしゃいませんか？

問い合わせ：047-388-0200（深野）

わんぱくの森

わんぱくの森（市川市）は松戸市との市境。松飛台駅より徒歩５分。大町小学校（市川市）に隣接する森です。活動には市川、千葉、船橋、柏、松戸の各市から参加しています。

活動日は第一木曜日、第三月曜日・10時～14時、次回は３月１９日、次々回は４月５日

一度いらっしゃいませんか？

問い合わせ：047-388-0200（深野）

根っ子の会（根木内歴史公園ｻﾎﾟｰﾀｰ）

里やまボランティア活動と自然観察に参加下さい。コサギ、カルガモ、メジロ、オオヨシキリが観られる湿地があり、自然環境のよいところです。「未来の根木内歴史公園像」を模索しています。

定例活動日：　第１&３水曜日 10時～

午後は昼食を食べながら皆さんとミーティング

（４月から活動日を変更する予定です）

植物観察会を毎月（不定期）実施しています。

10月　私立博物館で「戦国の城を訪ねて」

11月　大町自然観察園（長田谷津）見学会

12月　ヨシ刈りイベントを実施　36名参加

ヨシでモニュメントを造りました

３月24日（土）木に名札つけイベントを開催

根っ子の会HP：

http://negiuchi.hp.infoseek.co.jp/

問合せ先：　TEL341-5974（森）

落し物！

１月の観察・学習会で「眼鏡（老眼鏡？）」を落とされた方、ご連絡お待ちしています。（渋谷）

次回　観察学習会・残したい松戸の樹林⑪　のお知らせ

「北小金周辺の歴史と自然観察」

根木内歴史公園から大谷口歴史公園へ、大切にしていきたい歴史ある場所の緑をめぐります。

4月8日(日) 9：30～14：00　小雨決行

集合　ＪＲ常磐線　北小金駅　改札口　**9：30集合**

持ち物　弁当、飲み物、雨具　**参加費**　300円（保険料／資料代）（会員１００円）

お問い合わせ　047-348-7977　渋谷　※終了後2007年度の総会をいたします

No.17　2007年5月20日発行

緑ネット通信No.17

緑のネットワーク・まつど
代　表：鈴木　護　　年会費：1000円
連絡先：渋谷孝子 TEL&FAX047-348-7977
高橋盛男　　047-367-2857

4月8日観察学習会⑰
「北小金周辺の歴史と自然観」
流山につながる樹林地に感激！

藤田　隆

４月８日、こころよく晴れあがった朝、北小金駅に 40 名が集りました。松戸市公園緑地課の課長さんと職員さんも参加されました。後に分かりましたが、多くの市民の皆さんに公園を利用していただきたいといった気持ちにあふれている方々でした。

今回の「緑ネットワーク松戸」の自然観察会は歴史公園を舞台にしたこともあり、歴史や景観に重きをおいたものになりました。

北小金駅からは前発と後発の二組で出発し、サティの東側に保存された江戸時代の「江戸→、水戸←」を示す標柱や八坂神社の跡地だったことを示す石碑の説明に耳を傾けました。次に谷地の舌状に突き出した地形を利用した山城の行人台城跡に進みました。今は標柱があるだけ跡形もなく住宅に埋め尽くされていました。当時を復元した模型や絵図では根木内城の出城となっていて、名残をとどめるものもなく、時代は随分後に戻りますが、すぐ脇にある「藪喜そば」の裏にある道祖神が歴史を感じさせるくらいでした。この道祖神も実は「道禄神」と禄を持たされた特別偉いものだそうです。

目指す根木内城跡は、前方のこんもりとした常緑樹の森でした。六号線の信号を急いで渡ると、せりあがる樹林に守られた歴史公園が間近にありました。上富士川を望む広場で原課長さんから話を伺いました。ボランティア活動の皆さんと一緒に歴史公園を開園できた松戸では唯一の公園であることを強調されていました。計画から開園まで 11 年と感慨深げに語る様子に、言い尽くせない苦労を感じ取るのでした。城址では空堀、土橋、土塁と中世の戦国時代を髣髴させる遺構の説

明に感心しながら坂道を上がると広場に出ました。開園時に植樹された桜も満開から散り際を迎え、新緑が萌え出していました。コブシの奥にサイカチがありますと案内されました。

台地から斜面林、低湿地、上富士川と生き物が住み着く良い環境が残されたと、松戸を自慢したくなる気分にさせるほどでした。斜面林にはシラカシ、シロダモ、スダジイ、氾濫源となる低湿地にはヨシ、ガマやミクリ、タコノアシの貴重な植物もある植生でした。

根木内歴史公園を後にして、上富士川沿いにたどると護岸には「洪水がここまで上がってきた」と、ペンキで赤々と記してありました。東雷神社から常磐線を渡る跨線橋の最上段に立つと、根木内から続く斜面林が流山の試験免許センターの方まで、舌状に突き出した谷地の風景が広がり、低地部分の畑の先に、持ち上がった大地に樹林が濃くなったり、淡くなったりとつながって、「残したい景観がこれ」と言わんばかりに、パノラマを広げているのでした。

大谷口歴史公園では、舌状台地の途中に障子堀、畝堀が保存され、急峻な傾斜と城を攻め落とそうとする軍勢との間で繰り広げられた合戦のすさまじさが目に浮かぶのでした。公園の桜の下でお弁当を広げる家族連れと一緒になり私たちも昼食をいただきました。

大谷口歴史公園から場所を変えて、天神庵で根

木内歴史公園開園までのいきさつの説明がありました。(「根木内歴史公園サポーター･根っ子の会誕生誕生～1 年間の活動」参照)

ボランティア月二回の活動で樹林内のメンテナンスで快適な空間ができてきたが、市民の利用、自然を小学校の学習活動への活用などが少ないとの課題が示されました。市民に利用してもらう広報としてパンフレットの作成につながるマップ作りと展示会の話題も紹介されました。

目に焼きついた根木内から流山につながる樹林地の帯をおもい浮かべ、「残したい松戸の緑」の保全を思うのでした。

根木内歴史公園での市民との協働

「成果を焦らずじっくりと」は難しいことですね

松戸市　公園緑地課　三末容央

先日、観察学習会「北小金周辺の歴史と自然観察」に参加させていただきました公園緑地課の三末（みすえ）です。

この紙面がはじめてになる方もいるかと思いますが、皆さんとの出合いは１年半前に遡ります。当時は「根木内歴史公園」の開園を控え、当時の課長（高山課長：この春定年退職されました）がこの公園で何か仕掛けられないかと、緑ネットの皆さんにお声を掛け、最初の打合せ時に、私もテント小屋に強制連行された時がはじめてでした。今となってはあれが運命としか言いようがない出来事です。おかげ様で、今は「市民との協働」の最前線に。挙句にはこの度の投稿という事態です。

運命はさておき、本題に入ります。

松戸市の公園行政の中で本格的な「市民との協働による公園づくり」はこの「根木内歴史公園」がはじめてになります。根木内歴史公園での市民との協働は①歴史的遺産と、周辺の自然の価値と役割を広く市民に知ってもらうため。②樹林や湿地の緑の保全、管理の方向性を共有するため。③保全活動（自然を相手に体を動かすこと）の楽しさを体験してもらうため。④公園と市民、行政と市民が広く関われる場と機会を設けるため。の４つを目標に進めています。

掲げた目標と現状を比べるには、まだ時期尚早かもしれませんが、何よりも誇れるのは、会員２７名の中で、活動日毎の参加者がいつも１５名から２０名おり、皆さん大変まじめに取り組んでいただいていることです。目標を見失うことなく、やりがいを持ち、楽しく取り組んでいることの証ではないでしょうか。これは緑ネットの皆さんにもご協力をいただいた「根木内歴史公園ボランティア体験講座」が活動へ取組む姿勢につながっているのだと思っています。

課題もあります。私が一番難しく感じているのが、会としての合意形成です。会員各々が自身の経験と知識の中で理想を求め意見しており、議論をしても平行線のまま終わることも暫しあり、担当者としてはどの意見にも頷くしかない状況があるのが現実です。そこで「根っ子の会」では「私の公園未来図」を作成することにしました。各々が未来図に自分の思いを描き、それを会員間で話し合い、会としての公園未来図を完成させる過程の中で少しずつ方向性を一にし、合意形成を図っていこうというものです。また今年は更なる活動の広がりを求め、根木内小学校へも積極的参加を呼びかけていこうと行動をはじめたところです。

いずれにしましても、市担当者も含め経験も浅くまだまだ未熟であり、これからも引き続き

1月14日
観察学習
会 残した
い松戸の

検豊富な緑ネットの皆さまのご支援が必要す。今後ともよろしくお願いいたします。

「木内歴史公園サポーター・根っ子の会」会の誕生～1年間の活動

事務局 三嶋秀恒

ボランティア活動は昨年8月からの開始でした。「松戸の歴史とみどりを物語る公園をどのように守り、育み、利用するかを皆で考えていこう」という趣旨で、5～6月にボランティア体験講座を開講しました。

7月には受講者で設立総会を開催しました。

公園は開園したときがスタートで、この公園を将来どのようにしたらよいかを語らい、ボランティアにしかできない公園の保全管理や利用のあり方を皆で話合いをしながら活動していくことにしました。

3月までの定例活動は14回、イベント関係は5回： 8月に「夏休み工作づくり」、10月に市立博物館で開催の開園記念企画展「戦国の城をさぐる」の見学会、11月に大町自然観察園の見学・講習会、12月に「ヨシ刈り」、3月に「木に名札づけ」イベント、4月は緑と花フェスティバルに公園緑地課のコーナーでパネル展示参加を行いました。

また、樹林地と湿地があり、自然の豊かな環境であることから、馬場君子さんの発案で植物・樹木・生き物の観察会を10回開催し、「根っ子の会のホームページ」に活動報告などに併せて「花情報」を掲載しています。
http://negiuchi.hp.infoseek.co.jp/

皆さん、是非ご覧ください！

「緑のネットワーク・まつど」のこれからを検討

代表 鈴木 護

4月8日午後、〈緑のネットワーク・まつど〉の年一回の総会が開催された。

♣決算報告および予算案の検討が行われ、討議の後、承認されました。(4P)

♣事業報告および事業計画案を示し、年間の行事や定例会について、討議の後、修正して承認を受けました。(4P)

♣規約の改正(事務局の場所についての規定)を承認されました。

♣役員の改選はない年度ですが、東さんの運営委員辞任のため、あらためて藤田さんと三嶋さんに運営委員をお願いしました。

♣今後〈緑のネットワーク・まつど〉がどのような方向で活動・運営していくのかという方針について活発な意見交換がなされ「緑関連グループ間の意見交換会」を定期的にしていくこと。「協議会」の開設の提案。「東葛の森のシンポジウム(仮)構想」についての意見交換をし、総会を終了した。

・・・事務局からのお願い・・・

緑ネットは皆様の会費で運営しています。観察学習会での年会費納入をよろしくお願いいたします。
経費節減のため通信のメール添付送付をお願いしています。ご協力いただける方は、氏名、メールアドレスをご連絡ください。　　連絡先　渋谷　peco@ka1.koalanet.ne.jp

次回　観察学習会・残したい松戸の樹林⑱　のお知らせ

「市境の緑をつないで…わんぱくの森～サイカチの森」

7月8日(日) 9：30～14：00　小雨決行
集合　北総線　松飛台駅　改札口　9：30集合
持ち物　弁当、飲み物、雨具　参加費　300円（保険料／資料代）（会員１００円）
お問い合わせ　047-348-7977　渋谷　※終了後緑ネット定例会をいたします

緑ネット通信

No.18

緑のネットワーク・まつど
代　表：　鈴木　護　　年会費：1000 円
連絡先　　渋谷孝子　047-348-7977
TEL&FAX　　高橋盛男　047-367-2857

７月8日観察学習会⑱
「わんぱくの森からサイカチの森へ」

藤田　隆

北総線 松飛台駅に集合したのは２７人。コアラテレビの取材の方が入り、後から２人の参加で３０人の大部隊となった。駅南側からこんもりと見えるみどりのかたまりが目指す〈わんぱくの森〉。このあたりを載せた地図なら必ずといってよいほど「わんぱくの森」と明記されている。なぞかけのようだが、誰でも入れるというわけではない。入り口は大町小学校の校門、校庭を横切り、森の扉を開けるという、まるで「注文の多い料理店」のような入り方だ。扉のところにクリームは用意されていないが、大きめのクリーム色のきのこが出迎えてくれた。わんぱくの森の会代表の深野さんが森の説明をはじめた。

森全体は２ヘクタールで所有者は３人、手入れしても良いと了解が取れたところを下草刈り、枯れ木の除去から遊歩道づくりの作業を開始しているとのことであった。樹種はスギ、ヒノキ、サワラと針葉樹が多く、常緑樹ではシロダモやシラカシがあり、鳥が種子を運んで根付いたアオキとシュロがはびこっている。針葉樹は植林されたもので、植林された頃は建材にとの思いがあったのだろうが、林業の衰退とともに、森から手が離れ、虫食いや細菌で朽ち、一本丸ごと健在というものはほとんどないようであった。森の中程に高低差１０ｍほどの谷があり、落ち込んだところで紙敷川につながっている。大雨のときは小学校のグランドが調整池の役割を果たし、紙敷川へ流れ込むシステムである。川まで降りてみた。泉ケ丘団地の生活排水が流れ込んでかなりの臭気が漂う。下草刈りを終えたところには、生き物が集まるようにとビオネストが作られ、お楽しみでシイタケ栽培用にと材木が組まれてあった。学校林として利用されているので、小学生が観察に訪れること年に数回ある。谷にロープを張り、ロープウエーを楽しむほか、自然観察をしているそうだ。森の会では枯れた木を伐採し、林床部には少しずつ日が入るようになっていた。広葉樹が育つのが目に浮かぶ。森の所有者で構成する市川みどり会（森林所有者の会）は里山再生事業で順番に下草刈りを行っている。この森も先日、下草刈りしたばかりで斜面部は林床部があらわれ、日があたりどんな植物が出てくるか楽しみだ。作業前の林は人を寄せ付けないうっそうとした藪で、作業後との違いがくっきり出ていた。

小１時間ほどわんぱくの森を観察し、東松戸駅から５分程度のサイカチの森を目指した。わんぱくの森を出たところから川に向かって降りる急斜面の台地から北総線を挟んだ向こうには斜面林が眺められた。松戸市内にこんなに緑深いところがあったかと思わせる緑のベルトが優しい景色を見せてくれた。サイカチの森は農地を横切って入るのだが、日曜日は作業も休みのため、進入禁止を思わせるように網がかけられていたため、残念ながら観察は見送りとなった。次回に期待したい。東部スポーツパークでお昼となった。

昼食後、スポーツパークの２階会議室で学習会が始まった。自己紹介と感想を聞いたところ、「わんぱくの森で、整備され育成していく森の姿が見られて良かった」、「サイカチの森が見られなかったこ

とが残念だった」との意見であった。サイカチの名称に関して、「関西ではカブトムシをサイカチと別称するところからサイカチと命名したのではないか。近辺では鎌ヶ谷市民体育館、水元公園、日比谷公園、水道橋あたりに見られる」との情報も紹介された。総じて森の保全や里山観察会など森を愛し、活動する方が占めた。感想を含めた参加者の意見を集めてみると・・・。

「東京に近い松戸や市川の緑地は全部住宅にして、緑地を求めるなら郊外に・・・。」「人は森から出てきたという歴史をもとにすると都市にも緑が必要ではないか・・・。」「京都議定書による CO２削減を実現するため日本の森林を育て、３．９％は森林で CO２を吸収させるため、緑地保全の流れが出てきた・・・。」「都市の緑地は相続の問題が出てくるたびに住宅地に転換されるということが繰り返され、都市緑地法が改正され特別緑地保全地域の指定を受けて保全する流れが出てきたが、所有者は相続の問題が出るたびに緑地が剥ぎ取られるという構造は変わっていない。相続の問題を何とかしなければ・・・。」「ビルの谷間にカラスとハトが増えたのは農地が少なくなってきたこともあるが、農地にまかれる農薬によって残留する二酸化銅の影響で農地からカラスとハトを追い出した・・・。」「永田町にある都立日比谷高校にはビオトープがあり生き物が住み着いていた。都市部にも緑地が必要ではないか・・・。」「生き物が共存できるものにしていくために緑地を保全するようにしよう・・・。」と樹林地、緑地の保全を熱心に考えているご意見が集まった。

今回観察会で訪ねた〈わんぱくの森〉について、代表の深野さんより投稿いただきました

特集　**森と活動の紹介**

わんぱくの森の会

深野　靖明

わんぱくの森は松戸市 ガイドマップ(15 年 3 月版）には載っていますが、市川市案内図(16 年 3 月版)には載っていない。この森は民間私有地なのにいつのころからか地図に載っているのだそうです。隣接地の小学校には、公園と間違えて確認の電話などが多々あるそうです。そのようなことで市川市の地図からはこの名称が削除されているのではないかと勝手に推測しています。松戸市側は紙敷になります。

わんぱくの森の会は 2006 年 5 月 13 日に開催された「一日里山体験コース」に参加した、身近な都市部の里山保全に興味関心のある市民が集まって 2006. 6. 1. から活動が始まりました。現在の会員数は 26 名で、会員構成は市川 15、鎌ヶ谷 3、松戸 3、千葉 2、船橋 2、柏 1 名となっています。毎月第一木曜日と第三土曜日に活動しています。『合意すれど強制せず』をモットーに、具体的なことはその都度みんなで相談しています。

市川市では 2006 年度から市長が学長になり「緑と花の市民大学」として、市内の緑地を健全な状態で次世代に引き継ぐ地域活動の担い手づくりに大々的に着手しました。受講者は毎年３０名で、一期生は既に「いちかわ里山倶楽部」を設立し活動を始めています。わんぱくの森では、この 2006 年度のこの講座（全 11 回）の７回目が濱野先生（東農大）主導で開催されました。今年度も 2 回わんぱくの森で開催される予定になっています。

昨年の 12 月 7 日に養蜂家M氏の指導でオオスズメバチをわんぱくの森で越冬させようとトラップを 5 ケ所設置しました。目的は森のどこにいるか分からないオオスズメバチより、居場所が明確に把握できる方が安全性がより高くなるなどでした。しかし、女王蜂の越冬は実現しませんでした。

7 月末までは未確認だったのですが、8 月中旬にM氏からトラップにオオスズメバチが確認されたと連絡があり、確認したところ、我々の活動拠点と森の入口に一番近いトラップに転居した営巣がありました。森が小学校に隣接しているということもあり、蜂には申し訳なかったのですが、8/28 に撤去作業を行いました。

「緑関連グループ意見交換会」について

緑のネットワーク･まつど　副代表　川上　将夫

都市の緑を残すためには，緑を見守り，育む「人のネットワーク」が不可欠。ボランティア入門講座などをきっかけに、多くの緑のグループが誕生している。樹林地の保全活動は技術面だけでなく、制度、安全、助成金、保険、地権者・近隣住民との関係、行政との連携、研修スキルアップなど、いろんな課題がある。ひとつのグループがなかなか解決できないでいる問題も、グループ間で知恵を出し合えばその解決策が見つかるかもしれない。

そこで、年に４回程度、活動に役立つ意見交換の場を設けてはどうかと考え、緑関連グループ間の意見交換会を企画した。

すでに６月と９月に２回交換会を行ったが、樹林地で集めたゴミをどう処理するか、近隣住民とのかかわりは、地権者との関係は、広報活動は、等について活発な発言がなされた。いくつか具体的な提案が出ており、早速実行に移されたものもある。有言即実行である。

まだ試行錯誤の段階ではあるが、成果も出てきており今後も続けたい。

次回の交換会は 12 月 8 日（土）17：00－19：00 を予定。松戸市役所正面前のテント小屋。個人・団体を問わず誰でも参加可能です。

「里やまボランティア入門講座 2007」

野口　功

10 月 23 日から、「里やまボランティア入門講座 2007」が開催されます。これまで、一期から四期の講座受講生はグループを結成し、それぞれ森の整備に取り組んできました。その一つの成果が、これまで年々減少してきた、市内の保全樹林地区の面積が、今年、わずかながら増加するという形で現れました。ボランティアの活動が、山林所有者から歓迎された結果だと評価されています。また、松戸の講座を参考に、独自の里やまボランティア講座を開催する自治体も増えてきました。とても、うれしいことです。

講座は、毎年、それまでの講座受講生が運営に参加し、内容も、少しずつ変えてきました。今年は、里やま整備にあたる基本的な考え方を学ぶ課程が新たに組み込まれました。

各期の受講生のグループは、それぞれ、特徴を持った活動をしています。これから、五期の講座修了生が、どのような活動を展開するか楽しみです。また、通算五期で、修了生が 100 人近く誕生するという事態の中で、個別のグループの活動だけでなく、横断的な新たな活動の飛躍も期待されます。

講座の参加は、10 月 1 日の市広報で募集されることになります。多くの方の応募をお待ちいたします。

---

①10/23 里やまって何だろう
　　矢切の斜面林を歩こう
　　OP　戸定邸→千葉大
②11/6 都市の緑の役割
　　松戸市の緑の現状と課題
　　山林所有者のお話
　　関さんの森の見学
　　OP　溜の上の森で伐採実演、懇親会
③11/13 里やま整備の基本を学ぶ
　　GW この森で、こんなことをしたい
④11/27 森の作業体験とクラフト
　　OP 道具の選び方と手入れ
⑤12/4 里やまボランティアの先輩に聞く
　　GW はじめの一歩を考えよう
　　修了式
　　OP　21 世紀の森と千駄堀。懇親会

関さんの森
直面している道路問題について思うこと

渋谷　孝子

〈関さんの森〉は緑を愛する所有者・関武夫さんの意向で「こどもの森」として市民に開放され、こども達が元気に遊び、市民が散歩できる、フクロウが棲む森でしたが、新松戸駅から１０分あまりのこのあたりは〈市街化区域〉で、相続が発生したときに手放さなければならない状況となりました。お父様の意向を受け確実に森のまま残せる方法として、関美智子さんは財団法人に寄付し、実質的に森はそのまま市民が利用できる森として存続することができました。周辺の梅林や屋敷林、木陰のあるグランドを含め、この一帯は松戸において大変貴重な場所となっています。

記録に残っているだけでも、幸谷小、小金小、馬橋小、新松戸南小などの 9 つの小学校をはじめ、3 つの中学、小金高校、大学、専門学校、保育所、生協や子ども劇場などの市民団体、市の講座、デイサービスの高齢者の皆さんなど 200 回を越える利用があったようです（育む会会報 25 号）。

しかしこの場所には昭和３７年に都市計画された道路計画があり、ここに来て急に開通を急ぐ動きがあるようです。

道路が一本通れば、もちろん便利になる人も多く、都合がよくなる部分はあるでしょう。しかし、実際に道路が出来てみてどうなるか、真剣に考えてみなければなりません。便利な道は車を集めます。生活道路と市は説明していますが、6 号線から外環三郷 IC に抜ける大型車がたくさん通るようになることでしょう。付近の交差点や三郷に抜ける橋などで渋滞が発生するでしょう。こども達をはじめ多くの市民が恩恵を受けている緑の環境はどうなるのでしょうか？隣接する中学校の環境は・・・？

土地所有者が進める緑地の開発を地域住民が反対するというのはよく聞く話で、なかなか緑を残すことが難しいのが現状です。しかしここの場合、土地所有者である関さんは土地で金儲けをすることを全く考えていらっしゃらず、未来のために緑を残したいと言ってくれているのです。今大急ぎで道路を通してしまうより、一度は市議会で採択された道路の工法（トンネルや掘割方式）なども含め、もう一度計画を見直し、市民と行政とが一緒に、どうするのが未来のために一番いいのか、しっかりと考える時間を作ってもらいたいと思います。

15,000人をめざして
署名活動中

幸谷のみどりと環境を考える会　武笠　紀子

（仮称）「関さんの森エコ・ミュージアム」予定地を分断する道路建設の凍結を求める活動です。

道路と緑地の共存を考える時間が必要です。子どもからシルバーまで、市内の方も市外の皆さんにも、一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。(9 月末をすぎても結構です)

事務局より

①緑ネットは皆様の会費で運営しています。観察学習会での年会費納入をよろしくお願いいたします。

②経費節減のため通信のメール添付による送付へのご協力をお願いしています。今回郵送でお届けした方でご協力いただける方は、氏名、メールアドレスをご連絡ください。容量は 500KB 程度になります。

連絡先　渋谷　peco@ka1.koalanet.ne.jp

③同封の署名に賛同される方は、「幸谷のみどりと環境を考える会」までﾌｧｯｸｽ（047-360-6064）又は郵送でお早めにご返送お願いいたします。

次回　観察学習会・残したい松戸の樹林⑲　のお知らせ

「千駄堀＊森の小径観察＆クリーンアップⅢ」

地域の緑を大切に思う市民のパワーを行動で示しましょう

11 月 11 日(日) 9：30～14：00　　小雨決行

集合　新京成線　八柱駅北口（JR 新八柱駅より１分）　9：30 集合

持ち物　弁当、飲み物、雨具、軍手　　**参加費**　300 円（保険料／資料代）（会員１００円）

お問い合わせ　047-348-7977　渋谷　　※終了後緑ネット定例会をいたします